

## 公明党議員団

林 光仁・池田 謙次・藤田 広美  
神山哲太郎・大西 厚子

## ■ 一般質問 (抜粋)

【藤田 広美 議員】



「地方創生の取り組み」を質問し、企業版ふるさと納税を実施する方向で検討。

「とまちヨッピーポイント事業」

は8月上旬にオープンニングイベントを開催し、カードの配布とポイント付与を検討。約100事業で付与する予定など答弁。「地域包括ケアシステムの推進」では、29年度から、専任担当者の配置を協議し、体制強化を進める。生活支援コーディネーターは、28年度中に方向を示す。「認知症対策」に「見守りたい養成講座」を10月に実施し、見守りステッカーを作成。行方不明者対策で、本人確認のシールを秋頃に作成。思い出等を書き込めるパンフレットを提案。28年度は、エンディングノート400冊を配布予定。「がん対策」で、低い受診率を指摘。胃がん検診に内視鏡検査の29年度導入を予定。クーポン券での未受診にコール・リコール券の送付と28年度か

ら無料クーポン券を再送付。健康フェスタに、がん体験者の講演会を予定。他にも胃がんのリスク検診やワンコイン検診などを提案。

【神山 哲太郎 議員】



「市民ホール事業」について集客席数や利便性を考えたときに建設場所や駐車場の確保など重点に考慮すべきと提言しました。「啓北中・北光小の改築・大成小の改修」について補助事業費の削減から工事の遅れが懸念されているが、万が一の場合は市が単独でも資金を出して工事を進めるべきと質問しました。「道路案内表示」について国道・道道等から市道への表示のあり方について質問し、これまでは国・道と連携が無いことが明らかになりました。今後は、協議し、分かりやすい表示に努めるとの答弁がありました。その他「電子母子・父子健康手帳」「中学校の部活動の連携」について質問しました。

【大西 厚子 議員】

「男女平等参画の取り組み」について、成果目標・数値目標を設定すべき、また、できる限り男女別

の数値目標を持ち、関係部署で具体的に取り組むべきと質問しました。



た。「理美容の助成」については、高齢化社会に対応した新たな制度となるよう、制度設計に向け検討を進めるとの答弁。「ドクガ対策」については、ドクガ発生時期に集中して職員を配置する、土地所有者への通知文書用にドクガに関するパンフレットを作製する、他市の取り組みを調査するとの答弁がありました。他に、「苫小牧駒澤大学の支援」について質問しました。

## ■ 議案質疑 (抜粋)

【林 光仁 議員】



「苫小牧市福祉ふれあいセンターの指定管理者の指定について」

質疑。デイサービス事業の、「送迎方法」は、ルート送迎にならざるを得ないと答弁があり、重度の方など、冬期間を考えて、玄関先までを基本とすべきと、求めました。「自主事業提案内容について」

は、30年度以降にシヨートステイを開始。28年度中に就労継続支援事業、29年度に相談支援事業とグループホーム(敷地内)の実施を予定しているとの答弁がありました。シヨートステイの前倒し実施、及び、医療的ケアが可能な体制づくりを求めました。他、デイサービスの「準備期間の内容」「最大利用者数と職員体制」について質問しました。

【池田 謙次 議長】



第6回定例会も皆様の御協力で無事終了する事が出来ました。心から感謝申し上げます。さて、今議会から、初の「一問一答方式」を試行実施致しました。市民の皆様からは、「とてもわかりやすい」との声が多く、主体者である市民の皆様の声は、財産であります。また、種々の課題も浮き彫りにされました。今後、様々な声を、よりよい議会運営のために生かし、さらなる議会改革を推し進め、市民の皆様が開かれた議会に努めて参ります。